

# ソルトペインティング☆



くろいがよろしに  
 ペイントすると  
 ほなびみだいな!  
 ずなみに  
 ペンはながい  
 すきだよ!



## 準備するもの

- <材料>
- ・画用紙(白・黒)
  - ・色水(絵の具)
  - ・塩
  - ・木工用接着剤
- <道具>
- ・細い筆
  - ・スポイト
  - ・スプーン
  - ・クッキーの抜き型
  - ・トレイ

連載「アートイズと学ぶ 育てるアート」では、八戸市の現代芸術教室「アートイズ」の講師に、子どもがアートに触れる大切さや、保護者はどのようにして子どもの芸術活動を見守るべきかをアドバイスしてもらいます。  
 ※毎月第1水曜日掲載

## 芽生える好奇心大切に



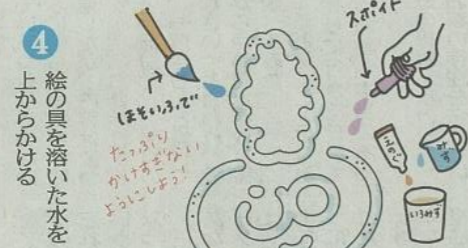
色のにじみが楽しいソルトペインティング

「STEM(STE:科学、Technology:技術、Engineering:工学、Mathematics:数学)を統合する教育」という教育法が、注目が集まる日本を含め世界的に注目されています。STEMに限らず、問題を発見し、科学(logy)、Techno(科学)、Eng(工学)を総合的に使って解決方法(inventing)を見つけていくことが大切だといわれています。

手早くサッと振りかけ、画用紙を傾けて余分な塩を落とすこと、たっぷりの水に絵の具を溶くこと。画用紙ではなく接着剤に付いた塩を狙って、チョンチョンと筆やスポイトで色を付けます。色付けした部分は、塩を伝って色が混ざり合い、美しいグラデーションが出来上がります。

色水が塩の上を広がるのは、塩に水を吸収する作用があるから。キュウリに塩を振ると水が出てきます。これは塩の「濃度を均一にした」という力が働き、キュウリの中の水が塩によって引き出されるからです。言葉で伝えても小さな子どもが全てを理解するのは難しいからこそ、遊びの中から芽生える好奇心を大切に、体験を通して理系脳を育てていくことが重要です。立体的に浮か上がるマチエール(絵肌)に、子どもも大人も大興奮!ぜひ挑戦してみてください。

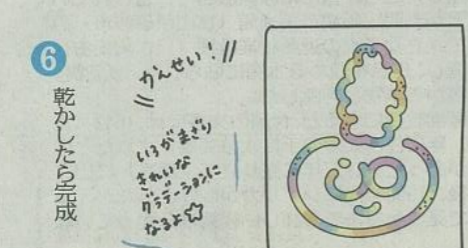
## 作り方



4 絵の具を溶いた水を上からかける



5 色水が染み込むのを待つ



6 乾かしたら完成



1 塩を用意する。市販の食塩でOK



2 紙に接着剤で絵を描く



3 接着剤の部分に塩をかける



プロフィール

佐貴巧(さぬき・たくみ)  
 1982年、静岡市生まれ。多摩美大卒。東京芸大大学院修了。現在、八戸学院大短期大学部幼児保育学科准教授。2014年より八戸圏域で現代芸術教室「アートイズ」を主宰し、アートを通して少しでも生きやすい世の中をつくろうと活動している。おいらせ町在住。



アートイズのHPはこちら